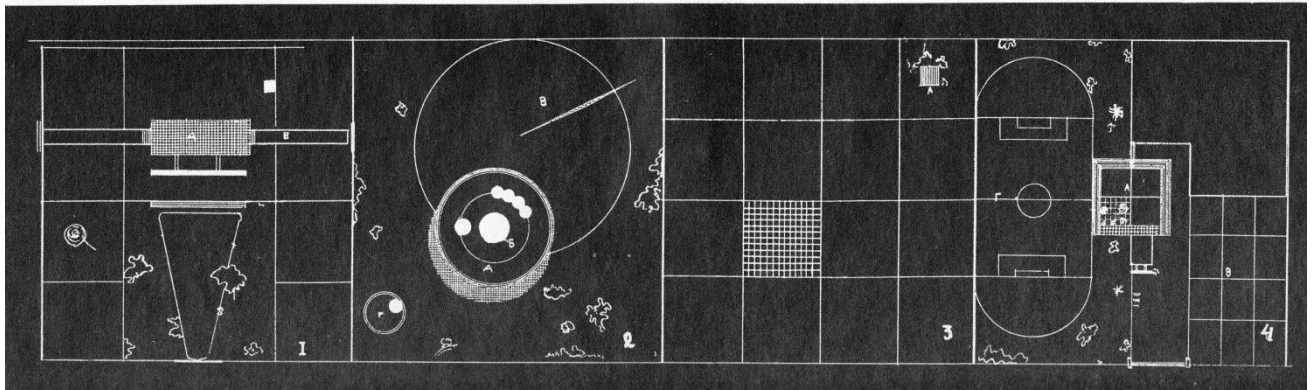
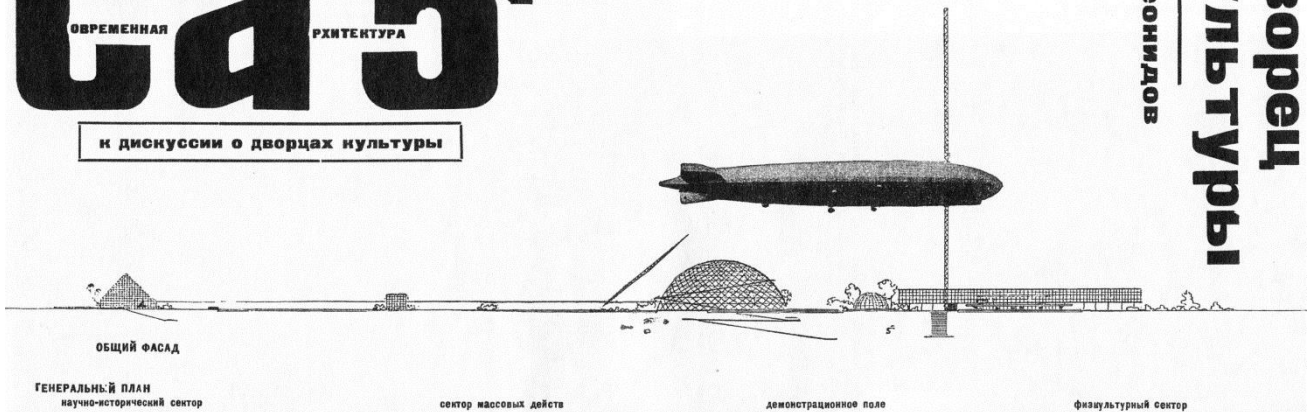


СА 5 1930  
ОВРЕМЕННАЯ АРХИТЕКТУРА

к дискуссии о дворцах культуры

Дворец  
культуры  
И. ЛЕОНИДОВ



Иван·Леонов, культурный дворец (1930 г.) Современная архитектура. 1930. №5. С. 1.

# 眼と革命、眼の革命

イワン・レオノフによる新たな建築形態の探求

建築博物教室 第7回 公開ギャラリーセミナー

## 幾何学のアーキテクチャ

本田 晃子 (早稲田大学高等研究所 助教/ロシア建築史)

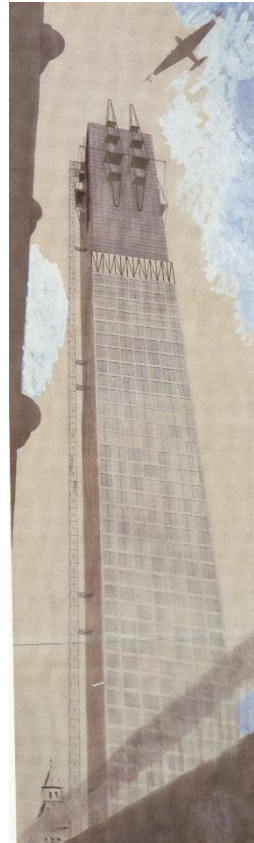
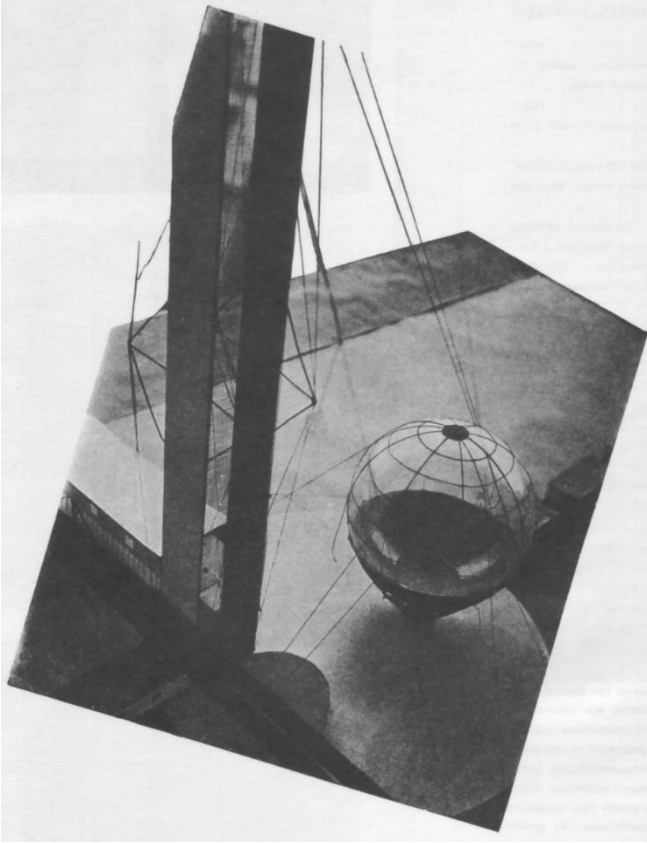
日時：2015年7月4日 (土) 13:30~15:00

会場：東京大学総合研究博物館小石川分館2階「空間標本」展示室

入場：無料 (事前申込不要)

# 幾何学のアーキテクチャ

## 本田 晃子



(左)イワン・レオニドフ、レーニン図書館学研究所設計案(1927年) Современная архитектура. 1927. №4-5. С. 119.、(右)イワン・レオニドフ、重工業人民委員部ビル設計案(1934年) Andrei Gozak, Andrei Leonidov, Ivan Leonidov: The Complete Works (New York: Rizzoli, 1988), p.110.

ロシア社会を根底から覆すことになった十月革命。その影響は間もなく建築にも及びました。1920年代になると、一部の前衛建築家たちは既存の一切の建築様式や装飾を否定し、工場の生産機械や自動車のように合理的に空間を設計することを主張しはじめます。これらアヴァンギャルド建築家のなかでもひとときユニークな存在であったのが、イワン・レオニドフです。彼は航空写真や天体写真のような新しいメディアに着目し、これらの視覚装置がとらえた幾何学的なパターンを、自らの設計に応用していくのです。今回のセミナーでは、生涯を通じて一度も「建てる」ことのなかった特異な建築家レオニドフの建築理念を、幾何学的形態という概念から解き明かしていきます。

**東京大学総合研究博物館小石川分館**

〒112-0001 東京都文京区白山3-7-1  
Tel. 03-5777-8600(ハローダイヤル)

開館時間: 10:00-16:30 (入館 16:00 まで)  
入館料: 無料  
休館日: 月・火・水曜日  
(いずれも祝日の場合は開館)、年末年始、その他博物館が定める日  
アクセス: 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩8分  
<http://www.um.utokyo.ac.jp/architectonica/index.html>



本田 晃子 (ほんだ あきこ)

**略歴:**

- 2002年 早稲田大学教育学部卒業
- 2004年 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学(表象文化論)修士課程修了
- 2009年 同博士課程単位取得後退学
- 2009年 日本学術振興会 特別研究員(PD)
- 2011年 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科にて課程博士(学術)取得
- 2012年 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター非常勤研究員
- 2014年 日露青年交流センター若手研究者等フェローシップによりモスクワ大学へ留学
- 2015年 早稲田大学高等研究所助教(現職)

**著作:**

- 野中進他編『ロシア文化の方舟——ソ連崩壊から二〇年』東洋書店、2011年。(共著)
- 本田晃子『天体建築論——レオニドフとソ連邦の紙上建築時代』東京大学出版会、2014年。



イワン・レオニドフ、国連本部ビル設計案(1957-58年) Andrei Gozak, Andrei Leonidov, Ivan Leonidov: The Complete Works (New York: Rizzoli, 1988), p.195.

建築博物館とは？  
「アーキテクチャ」をテーマにさまざまな分野の研究者が講演を行い、関連した標本を「アーキテクトニカ・コレクション」として展示していくシリーズイベントです。

建築ミュージアム / アーキテクトニカ  
**KOISHIKAWA Annex.**  
**UMUT**  
東京大学総合研究博物館小石川分館